

第97回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和3年6月25日（金） 13:30～15:20

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Webex使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
金子委員、斉藤委員、坂井委員、坂田委員、高土委員、寺島委員、
平尾委員、木戸委員、大村委員、河端委員、奥村委員、中村委員、
吉田委員、中尾委員、上野委員

（オブザーバー）外村監事、林監事、松尾副学長、喜多副学長、近藤副学長、
眞庭副学長、西谷国際文化学術研究科長、南経営学研究科長、
大川システム情報学研究科長、南医学研究科長

欠席者 新井委員、井戸委員、佐藤委員、久元委員

議事要録について

第96回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 令和2年度財務諸表等について
令和2年度財務諸表等について、決算概況書及び附属病院決算に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。また、併せて、財務諸表に添付する事業報告書及び決算報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 2 令和3年度目的積立金の取崩計画について
令和3年度目的積立金の取崩計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 3 学内組織の再編について
大学全体の戦略に関する企画立案機能を強化すること並びに、知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点を目指し、学内資源の有効活用及び教育研究基盤を強化することに伴い、①戦略企画本部を廃止し、学長を室長とする戦略企画室を設置すること、②学長の下に置かれている室の役割を見直し、再編すること、③総合研究推進組織のカテゴリーを廃止し、組織を再編すること、④基幹研究推進組織を学内共同教育研究推進組織に変更し、構成する組織を再編すること、⑤学内共同基盤組織を学内共同管理・支援組織に変更し、構成する組織を再編することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 教育戦略企画部門や研究戦略企画部門よりも前に財務戦略企画部門を置いた理由は？

→ それぞれの部門を順位付けしている訳ではないが、財務戦略企画部門を前に置いているのは、現在の大学の置かれている状況から外部資金などの重要性を踏まえ、新たに教育や研究の戦略企画を検討する当たっては、財務状況を念頭に置く必要がある。なお、財務戦略企画部門、教育戦略企画部門や研究戦略企画部門はそれぞれ重要であり、順位付けをしていない。

- 財務を疎かにすることはあり得ないことから、大学の財務基盤を強化して、教育や研究に励んでいただきたい。
 - SDGsは、教育や研究だけではなく、環境など多岐にわたる取組があるが、SDGs推進室を学長の下に置く室から学術研究推進機構に置いた理由は？
 - 学長の直下の組織として置くことが必ずしも機能するとは限らない。SDGsの取組は多岐にわたるが、その中でも、本学は、研究にかかる取組に重きを置くと考え、研究を主とする学術研究推進機構に置くこととした。
 - 「戦略企画本部」から「戦略企画室」に名称を変更した理由は？
 - 「戦略企画本部」が「本部」としての機能を果たしているのか疑問があった。今回、コンパクトにした執行部を構成員とする「戦略企画室」において、学内の諸会議に附議する前に企画立案をしっかりと議論することを主眼とする組織にするため、名称を変更した。
 - 「戦略企画室」の下にある各部門間の連携が重要になると思うが、それをどのように行っていくのか？
 - 各部門において企画立案を行う前に、学長及び理事を構成員とする理事懇話会にて課題の洗い出しや情報共有を行うことにより、連携を図っている。
- 4 国立大学法人神戸大学学則の一部改正について
学内組織の再編に伴い、国立大学法人神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 5 国立大学法人神戸大学職員給与規程等の一部改正について
学内組織の再編に伴い、管理職手当及び職務付加手当に係る規定を整備するため、以下の規程を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 1 国立大学法人神戸大学職員給与規程
 - 2 国立大学法人神戸大学年俸制適用教員給与規程
 - 3 国立大学法人神戸大学年俸制適用教員（退職手当支給型）給与規程
- 6 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
なお、今後字句修正がある場合は、学長一任とすることを併せて承認した。
- 第4期中期目標期間から年度ごとの業績評価が無くなるというのは事実なのか？
 - 今のところ、毎年度の業績評価は止める方向で、第4期中期目標期間の業績評価や予算配分方法などについて議論がなされているところだが、まもなく文部科学省から示される予定である。
 - 年度ごとの業績評価が無くなった場合、現在の「成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標）」との整合性が課題になると推察するが、一方で、2年～3年単位で業績評価を求められることはないのか？
 - 自己点検・評価は課せられるが、まだ、文部科学省から詳細は示されていない。ただし、予算配分にかかる評価は、第4期中期目標期間の4年目に実施されると言われており、自己点検・評価はしっかり実施していく予定である。

- 7 大学機関別認証評価に関する自己評価書について
大学機関別認証評価に関する自己評価書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
なお、今後字句修正がある場合は、学長一任とすることを併せて承認した。
- 8 第4期中期目標・中期計画（素案）について
第4期中期目標・中期計画（素案）について説明があり、審議の結果、今後、文部科学省との意見交換などを踏まえ、検討を進めていくことを承認した。
なお、7月下旬に本協議会（書面審議）を開催することについて併せて承認した。
- 9 学長選考会議委員の選出について
学長選考会議委員の選出について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

- 1 令和2年度監事監査結果報告について
令和2年度に実施した監事監査の結果について報告があった。
 - 2 統合研究拠点アネックス棟問題について
統合研究拠点アネックス棟の建物費用返済問題について報告があった。
 - 3 令和2年度補正予算について
令和2年度補正予算について報告があった。
 - 4 2020（令和2）年度第4四半期資金運用実績報告について
2020（令和2）年度第4四半期資金運用実績について報告があった。
 - 5 臨床研究中核病院への承認を受けて
医学部附属病院が臨床研究中核病院の承認を受けたことについて報告があった。
 - 6 120周年記念募金趣意書について
創立120周年記念募金趣意書について報告があった。
 - 創立120周年記念募金はどこで決まったのか？また、前回の募金との整合性はどのようになっているのか？
 - 本協議会にて報告するまでに学内にて十分に議論しており、学内会議である部局長会議や教育研究評議会なども踏まえている。今回の募金と前回の募金との整合性について、価値創造やイノベーション教育などは「卓越した“人”を創る」に、インターナショナル・ハウスや課外活動などは「秀でた環境の充実と整備のために」の箇所に示し、本学として推進していくところを前回の募金の趣旨を広げる形で、継続して今回の寄附を募るものである。
 - 7 学長指示書に基づく理事の業務について
学長指示書に基づく理事の業務について報告があった。
- ◎ 次回は、令和3年7月下旬に書面審議を開催予定、次々回は、令和3年9月27日に開催予定。